



デイサービスエプロン便り

2025年3月10日号

初詣・観梅・節分・ひな祭り… 春がきました！



氷川神社で初詣



節分



デイに鬼が来て、皆で邪気払い！



改めて当デイサービスの特長は、食事と散歩・外出です。上記写真は、季節に合わせての外出や行事の一場面です。折々のシーンのベストショットをカメラに納め、デイでプリントして、利用者みなさんにお渡しするように努めています！



「介護離職ゼロ」って？

介護保険豆知識

「介護離職ゼロ」の政策を、昨年変わった現政権も掲げています。

介護のために離職しない「仕事と介護の両立」について連載しています。

この連載を続けていて、朝日新聞の朝刊「暮らし」面の、「老いていく親と私」の掲載記事を参考にさせて頂いています。実際のリアル体験が「反響編」には記されています。

前回は引き続き、リアル体験談「その3」です。介護職の方の苦悩。これは筆者も身につまされる内容です。介護福祉士Aさん。認知症と心不全の95歳実父を在宅介護しながらの二人暮らし。4年前に介護するために離職されたのでした。

当初、お父様はサ高住で介護を受けながら暮らしていましたが、元々の性格から職員に反発したり、服薬を拒否したり、受診を理由に外出を繰り返すなどの行為に施設側は困り果てていました… Aさんは「施設にこういう人がいたら困る」というのはよくわかり、引き取って自分でみようと思決心。引き取りながらも「そもそも施設での共同生活が送れないタイプの人」は在宅の一択なのか？とAさんは呻吟します。

一択ではない！と筆者は言いたいところです。

心の切り替えとして、仕事の延長のような介護をしているそうです。週4回のデイサービスを利用しながら。感情に任せてしまうと介護殺人の当事者にだってなりかねない。「ケアの実証実験」と思うことにしていると。その原動力は、様々な事に対する疑問や怒りとのこと。

95歳実父様は、子どもが離職する形で寄り添っていることが社会的にどんな意味を持つのか想像できないでしょう。「家のことは妻や子どもがやって当たり前」の価値観はなかなか変え難い。

Aさん！実父様は加齢に伴い必衰です。長生き目的というよりも、苦痛なく人生を全うする伴走は十分なさいました。離職はしてしまいましたが、ここは休職と捉え、再度施設利用を検討し、Aさん自身の人生のQOLを上げてください！

空き情報	月	火	水	木	金	土
利用	○	△	△	△	△	○
入浴	×	×	○	×	×	×

○空きがあります ×待機ができます △ご相談ください

デイサービスエプロン

〒177-0041 練馬区石神井町8-53-24
電話 03-6915-9320 FAX 03-6915-9316

※次号は5月10日発行予定です！

3月の予定

・後半はお花見三昧！

地震訓練・避難訓練
3月生まれの
利用者様誕生日会

♪デイサービスエプロンは定員
13名の小さなデイサービスです。
細やかな心配りとゆったりした
雰囲気大切にしています。
見学は随時受け付けております。
お気軽にお電話をどうぞ。

